

活動紹介

～お電話1本で参上します（豊中市限定）～

不要な衣類などを引きとり、豊中市駅構内「福祉の店」などで、バザー品として販売させて頂いています。

写真は11月に糸をかしで開催した自主バザーです。

※品物は引きとり時に選別させて頂いています。（リサイクル班）



～駐車場 行くうー！～

糸をかしのレギュラー作業である駐車場の清掃。雑草や枯れ草、落ち葉、たまに金柑……色々な収穫(?)物をゴミ袋に黙々と入れていると地域の方が「ご苦労さん」とお声掛け♪ 今年も頑張りま～す♪
(清掃班)

外部講師

～体操教室～

月に2回、「糸をかし」の1階フロアで体操を始めて3～4年。もっとからだをやわらかく？ もっとやせたい？ もっとかっこよく？……いろいろ期待はありましたが、現在のところとにかく元気で、明るく、楽しい時間が続いています。みんなダンスが大好き！ お気に入りの曲でロックンロールにはまる人、なんでやねん！ のつつこみで踊る人、エビカニ！ とリクエストする人、すごい集中力で速くなっていく曲にジャンプする人、などなど。

ストレッチでは、一人ひとりが得意のポーズで先生を務めます。ねこ先生、いぬ先生、らくだの先生（ヨーガのアーサナの名前です）

時には屋外でミニ運動会。しよいこの玉入れ、バトンリレー、大玉みこし……これからもおもしろいことが増えていくのが楽しみです。

体操講師 横山純子



～書道講座～

「いとをかし」の書道教室の時間を作っていたから、もう何年過ぎたでしょう。

はじめは戸惑いもありましたが、そんなことは全く無用の心配でした。メンバーさんがすぐに私を受け入れて下さり、月一回の楽しい時間が始まりました。



お一人おひとりの個性を尊重しながら夢中でその日のテーマに向かって作品を仕上げる作業は私にとって、とてもワクワクするものです。

お一人おひとりの個性を尊重しながら夢中でその日のテーマに向かって作品を仕

その中で新しい発見や驚きを共有しながら、あっという間の二時間。御自分の思い通りに書を書けた時の満足げな顔を見ると、思わず抱きしめてしまいます。

その成果は年に一度開催する「朱鳳の会作品展」で毎年、特別参加という形で披露させていただいています。

先日もメンバーさんの中で柳井君と美津子さんがビッグアイ主催のアートコンクールで受賞されたと伺って本当にうれしく思います。

書道講師

近藤朱鳳



近藤朱鳳

◆◆◆1946年、近藤露石の三女として大阪に生まれ、伝統書家であった父から書風を受け継ぐ。正しい筆法に裏打ちされたその書風は美しく読み易い。師、露石が常に妥協することなく、高雅な書の世界を貫いた事から、朱鳳もまたその心情を受け継ぐ事を使命として研鑽し続け、なおかつ、その正しい筆法から自由な表現へのアプローチを試み、アートとしての書のあり方にも踏み込んでいる。国内に留まらず、海外でも数々の賞を受賞するなど、高い評価を得ている。(HPより) ◆◆◆



そっきょうがくだん ウジャ
～即興楽団 UDje()～

「楽しい」は多くの素晴らしいを運んでくる。

糸をかしで共に音を楽しむようになり、早くも一年半。全員でひとつの音楽、場をつくる利用者さんの楽しそうな姿、そして全身で表現をする彼らの独創的なシーンはとても美しく、多くの感動と発見、喜びを届けてくれました。

さらに「素のままフェスタ 2013」のステージをきっかけに昨年からはまった「糸をかし」と生活介護事業所「第2みらい」の合

同ワークショップ。ワークショップを通じて互いに「糸さ

ーん!」「みらいさーん!」と手を振り合う間柄に。「素のままフェスタ 2013」のテーマである「共に楽しむ馴染みづくり」を地で行っております(笑)。

これからも「楽しい」ということから、表現もお馴染みさんの間柄も、深くそして更に広がっていくことを目指していきます。今年もよろしくお願ひいたします。

音楽講師 ナカガワエリ

即興楽団 UDje() (そっきょうがくだん うじゃ)

◆◆◆ただ好き勝手に音を鳴らすのではなく、他の人の動きをよく見て、音に耳をすまし、場の空気を嗅ぎとって、自分が出す音や動きを的確に判断し行動にうつす。こうした実践を重ねることで、何ともいえない美しい即興のハーモニーがうまれます。(HPより) ◆◆◆

